CKD VISION 2035

Technology & Solution

多様な技術の融合と共創によりお客さまの課題を解決し変化に対し、
しなやかに適応する強い事業体を目指す

CKDは、挑戦を続けます。
一人ひとりが自ら考え、一歩を踏み出し、
多様なパートナーと共に新しい価値を創り出していきます。
その価値が、産業や暮らしを支え、地球環境を健やかにし、
人々の未来をより豊かにすると、私たちは信じています。

Human & Sustainability

人材を価値創造の源泉とし、産業・暮らし・環境を支える価値を提供し、
持続可能な社会に貢献する企業となる

“価値が循環する社会”の実現へ。
私たちはこれからも、「人」「パートナー」、そして「地球」を大切にしながら、
未来を拓いてまいります。

CONTENTS

CKDが新たに目指す姿

04 CKDの理念
05 企業文化の醸成
06 数字で見るCKD
08 創業から培ってきた技術と挑戦の軌跡
10 社長メッセージ
14 中長期ロードマップ

CKDの価値創造ストーリー

16 価値創造モデル
18 CKDの強み
19 注力産業(成長領域)
20 マテリアリティ(重要課題)
22 リスクと機会

CKDの成長戦略

24 管理担当役員メッセージ(財務戦略)
28 事業別戦略(自動機械事業)
30 事業別戦略(機器事業)
32 研究開発・知財戦略
34 生産体制

経営基盤の強化

36 サステナビリティ
37 環境戦略
41 気候変動対応
42 人的資本
46 人権
47 サプライチェーン・マネジメント
48 取締役会議長メッセージ
50 社外取締役メッセージ
52 監査等委員ご挨拶
54 コーポレート・ガバナンス
60 役員一覧
62 コンプライアンス
63 リスクマネジメント

会社データ

64 財務・非財務ハイライト
66 11年間のサマリー
68 株式情報
69 会社情報

2026年版の読み込みポイント

1 新10年VISIONと新中期経営計画により、長期視点の成長ストーリーを明確化

2026年版では、新たに策定した10年VISIONと中期経営計画を中心に、CKDグループが長期的に目指す姿と、その実現に向けた取り組みを整理しています。成長市場への対応、事業競争力の強化、グローバル展開などを通じて、持続的な成長を実現していく考え方を紹介しています。

2 中長期戦略と連動したマテリアリティを再定義し、KPIを設定

新たな中長期の成長戦略を踏まえ、マテリアリティを見直しました。事業機会・リスクと社会課題との関係を整理し、重点テーマごとにKPIを設定。価値創造と企業価値向上に向けた取り組みを明確化しています。

3 監査等委員会設置会社への移行を踏まえ、ガバナンス体制の強化を説明

2026年版では、監査等委員会設置会社への移行を踏まえ、ガバナンス体制の強化についても重点的に説明しています。取締役会の監督機能を高め、意思決定の迅速化と経営の透明性向上を図ることで、持続的な成長を支える体制づくりを進めていることを紹介しています。

発行にあたり

CKDグループは、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをより深くご理解いただくことを目的として、統合報告書を発行しています。

本報告書では、財務情報に加え、事業戦略、サステナビリティ、人的資本、知的資本、製造資本、コーポレートガバナンスなどの非財務情報を統合的に整理し、CKDグループがどのように価値を創造し続けるのかを分かりやすくお伝えすることを目指しました。

2026年版では、長期的に目指す姿としての新10年VISIONと、その実現に向けた新中期経営計画を中心に、成長投資、事業基盤の強化、グローバル展開、DX、サステナビリティへの取り組みを関連付けて構成しています。また、監査等委員会設置会社への移行を踏まえ、ガバナンスの実効性向上に向けた考え方についても充実を図りました。

本報告書の制作にあたっては、関係部門と連携しながら、掲載情報の正確性、客観性、網羅性の確保に努めています。今後も、ステークホルダーの皆さまとの対話を通じて開示内容の充実を図り、より信頼性の高い情報発信に努めてまいります。

編集方針

■参考にしたガイダンス

報告書の作成にあたっては、
主に以下のガイダンス等を参考にしています。

- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」
- SSBJサステナビリティ開示基準
- TCFD提言
- GRIスタンダード
- 環境省「環境報告ガイドライン」

■報告対象範囲

対象組織:原則としてCKDグループ連結対象会社
対象期間:2025年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)を原則としていますが、2026年4月以降に開始した一部の開示事項や事業活動の内容を含みます。

■将来見通しに対する注意事項

本報告書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々なリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

統合報告書の位置づけ

CKDウェブサイト
https://www.ckd.co.jp/

財務情報

IR情報
https://www.ckd.co.jp/ir/

統合報告書

https://www.ckd.co.jp/ir/finance/anual/

非財務情報

サステナビリティ情報
https://www.ckd.co.jp/csr/

■IR情報のメール配信サービスのご案内

最新の適時開示等、当社のIRに関する情報や当社新製品、ESG活動等について、タイムリーに配信しています。ぜひ、URL又はQRコードよりメールアドレスのご登録をお願いします。

https://rims.tr.mufg.jp/?sn=6407

CKDの理念

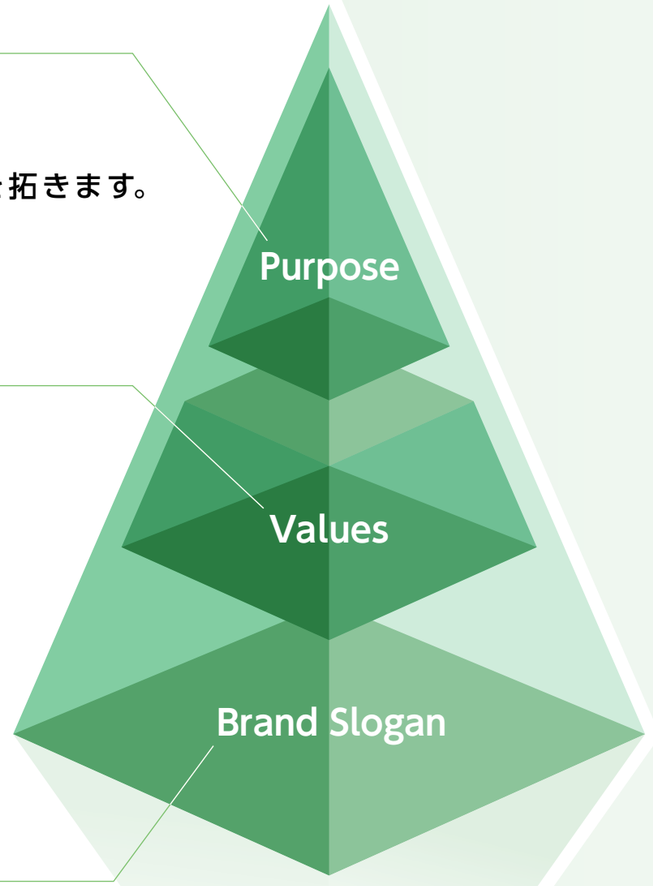
Purpose 存在意義

自動化技術の探究と共創を続け
健やかな地球環境と豊かな未来を拓きます。

Values 価値観

C-SHIP

- Customer …… 顧客志向
- Sustainability …… 持続可能性
- Human …… 人材重視
- Innovation …… 革新
- Professionalism …… プロ意識



Brand Slogan ブランドスローガン

Creating Solutions Together

企業文化の醸成

1 社員とともに策定した理念

CKDグループは、創立80周年を迎えた2023年、社員一人ひとりが誇りと愛着を持ち、持続的な成長を実現する会社を目指して、「Purpose」「Values」「Brand Slogan」を制定しました。策定プロセスには、社内公募で選ばれた国内外の多様な社員が参画。自社分析や未来予測、全社員を対象とした共感度調査を重ねながら議論を深め、PurposeとBrand Sloganは全社員による投票で決定しました。

2 社員と理念をつなぐ取り組み

■社長と社員によるコミュニケーション活動

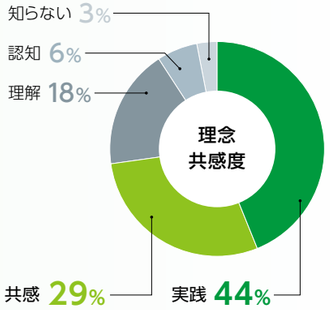
社員一人ひとりが理念を自分ごととして理解するため、社長と国内外の社員とのタウンホールミーティングや、社長と全部門長とのPurposeをテーマにした個別面談などを実施しています。

■理念実践を賞賛する社内アワード「GO CKD! AWARD」

評価軸や表彰区分にC-SHIPの5つの価値観を取り入れたことで、社員が理念と日々の業務とのつながりを意識する機会となり、理念の浸透につながっています。

■理念チャレンジ月間

「理念チャレンジ月間」とする4月には、全社員を対象とした教育動画で理念の理解を深めています。教育後の理念共感度アンケートでは、73%の社員が理念に「共感」または「実践」の段階にあると回答。今後もPDCAを回しながら、理念に根差した企業風土の醸成に取り組んでいきます。



3 理念を実践する私たちの活動

パルスブローバルブ「BNPシリーズ」は、海外のお客様から寄せられた「誰でも使いやすい省エネ型のエアブローガンが欲しい」という声をきっかけに誕生しました。開発プロジェクトには、開発担当や材料開発をはじめとする多様な専門性を持つ技術者が参画。お客様の視点で深く掘り下げ、仲間と知恵を出し合う姿はCKDが大切にする「探究と共創」を体現したものです。理念の実践から生まれた製品として、世界各地の生産現場で省エネと作業性向上に貢献しています。(開発担当者)

CKDが新たに目指す姿

数字で見るCKD

2025年度 実績値

01 積み重ねが生んだ商品ラインアップ

創立
83年（2026年4月時点）
1943年創業 ※累計の積み重ね

研究開発費
34億円
技術開発への継続投資

特許保有件数
1,816件
国内 774件 ＋ 海外 1,042件

商品ラインアップ
50万点超
自動化のあらゆる現場に応える商品群

- 自動機械装置
  - 包装機（薬品、食品）
  - リチウムイオン電池用巻回機
  - 三次元はんだ印刷検査機
- 機器商品
  - ファインシステム機器（半導体向け）
  - 流体制御機器（一般産業向け）
  - 空気圧機器
  - 電動機器

［代表例］
薬品包装機
国内シェア No.1

環境負荷低減型商品開発
21件

02 世界中のお客様を支える体制

従業員数（連結）
4,826人
- 国内 2,699人
- ＋
- 海外 2,127人

販売・サービス網
17か国
全144拠点

生産拠点数
16拠点
- 日本 8拠点
- ＋
- 海外 8拠点

設備投資費
28億円

太陽光発電量
7,863MWh
再生可能エネルギー活用

CO_2排出量削減率
8.2%
（総量、2022年度比）

03 商品と体制が生み出す事業成果

売上高
1,579億円
日本 64% ／ 海外 36%

- 機器事業 1,385億円 構成比 87.7%
- 自動機械事業 194億円 構成比 12.3%

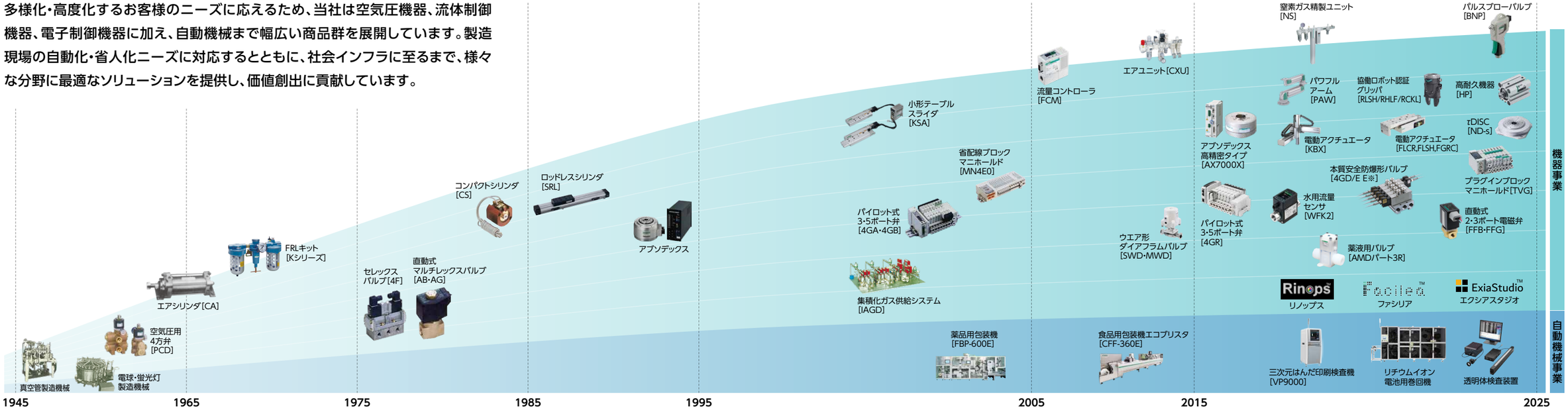
営業利益
196億円

配当1株当たり配当金
81円

配当性向
39.9%

創業から培ってきた技術と挑戦の軌跡

多様化・高度化するお客様のニーズに応えるため、当社は空気圧機器、流体制御機器、電子制御機器に加え、自動機械まで幅広い商品群を展開しています。製造現場の自動化・省人化ニーズに対応するとともに、社会インフラに至るまで、様々な分野に最適なソリューションを提供し、価値創出に貢献しています。



海外グループ会社設立年

1984年設立
M-CKD PRECISION SDN.BHD.

1985年設立
CKD USA CORP.

1988年設立
CKD THAI CO.LTD.

2002年設立
CKD 韓国株式会社

2003年設立
喜開理(中国)有限公司

2014年設立
PT CKD MANUFACTURING INDONESIA

2015年設立
CKD INDIA PVT.LTD.

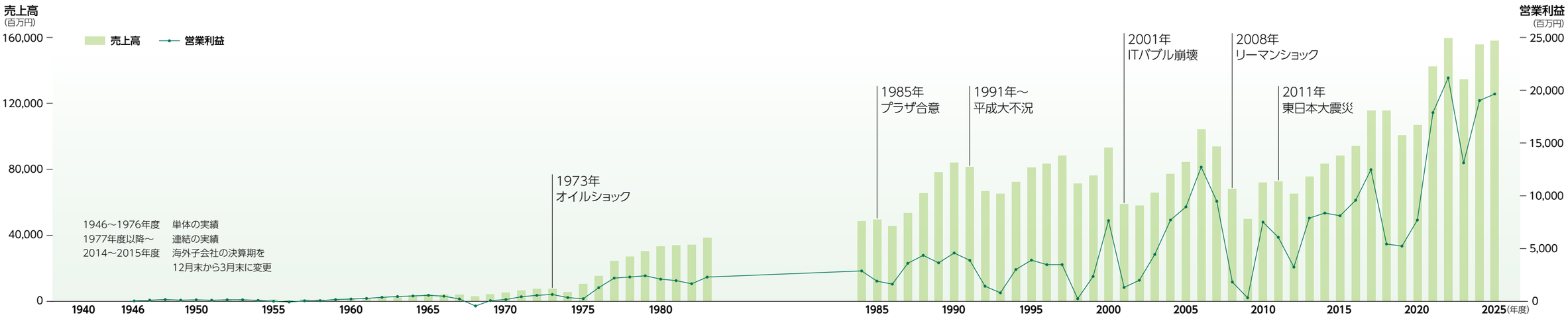
2022年設立
CKD ITALIA S.R.L.

2024年設立
CKD MALAYSIA SDN.BHD.

※ 掲載している写真は、設立当時のものとは限りません。

その他拠点の設立年一覧

1989年 CKD SINGAPORE PTE.LTD.
2001年 喜開理(上海)機器有限公司
2007年 台湾喜開理股份有限公司
2014年 CKD VIETNAM ENGINEERING CO.LTD.
2014年 PT CKD TRADING INDONESIA
2015年 CKD MEXICO, S. DE R.L. DE C.V.
2016年 CKD EUROPE B.V.



社長メッセージ

初めに

日頃よりCKDを支えていただいている株主・投資家の皆様、お客様、お取引先様、社員をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様に、心より御礼申し上げます。

当社は2026年度より、新たな10年VISION及び第6次中期経営計画をスタートさせました。

これまで当社は、自動化技術と流体制御技術を基盤に、モノづくりの現場を支えてまいりました。今後は、その強みを最大限に活かせる成長領域へ経営資源を集中し、事業構造の進化を通じて、持続的な成長と企業価値向上を実現してまいります。

本メッセージでは、長期経営ビジョン「10年VISION GO CKD!」で築いてきた成果を振り返るとともに、新たな10年VISION及び中期経営計画に込めた考え、そして将来に向けた成長戦略について、ご説明いたします。

「10年VISION GO CKD!」の振り返り

2016年に「10年VISION GO CKD!」を掲げて以来、当社は半導体及び海外ビジネスを大きく伸ばし、着実に成長してまいりました。

CKD VISION 2035

新たな10年VISIONのタイトルは「CKD VISION 2035」としました。社員一人ひとりが自ら考え、一歩を踏み出し、多様なパートナーと共に新しい価値を創り出していく。その価値が、産業や人々の暮らしを支え、地球環境を健やかにし、未来をより豊かにしていく。そのようなビジョンを目指しています。

CKD VISION 2035

1. Technology & Solution

2. Human & Sustainability

このビジョンの根幹にあるのは、「人」「パートナー」、そして「地球」を大切にするという考え方です。私は、社員とそのご家族が幸せであってこそ、良い経営が実現できると考えています。価値を生み出す源泉は、いつの時代も「人」だからです。一方で、社会課題の多くは、一人や一社だけでは解決できません。だからこそ私たちは、お客様や代理店様をはじめとする多様なパートナーと共に、価値を創造し、社会に貢献していきたいと考えています。私たちの企業活動は社会の中にあり、その社会は地球上で成り立っています。地球環境への配慮なくして持続的な成長は実現できません。こうした考えのもと、CKDは「人」「パートナー」そして「地球」を大切にしていきます。

CKD VISION 2035の目指す姿

「CKD VISION 2035」は、Purposeを起点に、これまで培ってきた「自動化に紐づく多彩な技術力」「技術を融合し提案を生み出す革新力」「お客様のニーズに寄り添う共創力」の3つの強みを最大限に活かしながら、社会課題の解決と持続的な成長を実現するための長期ビジョンです。「CKD VISION 2035」では、2つの目指す姿を掲げています。

1. Technology & Solution

多様な技術の融合と共創によりお客さまの課題を解決し変化に対し、しなやかに適応する強い事業体を目指す

お客様やパートナーとの対話を通じてニーズを的確に捉え、多様な技術を融合し、新たな価値を創出します。また、外部環境の変化にしなやかに適応し、強い事業体を築いてまいります。

2. Human & Sustainability

人材を価値創造の源泉とし、産業・暮らし・環境を支える価値を提供し、持続可能な社会に貢献する企業となる

人材を価値創造の源泉として捉え、一人ひとりを大切に育成します。多様な人材が共創し、シニアの知見も活かしながら互いに高め合う企業文化を育て、主体的に考え行動する力を伸ばし、持続的成長を実現してまいります。

社長メッセージ

第6次中期経営計画

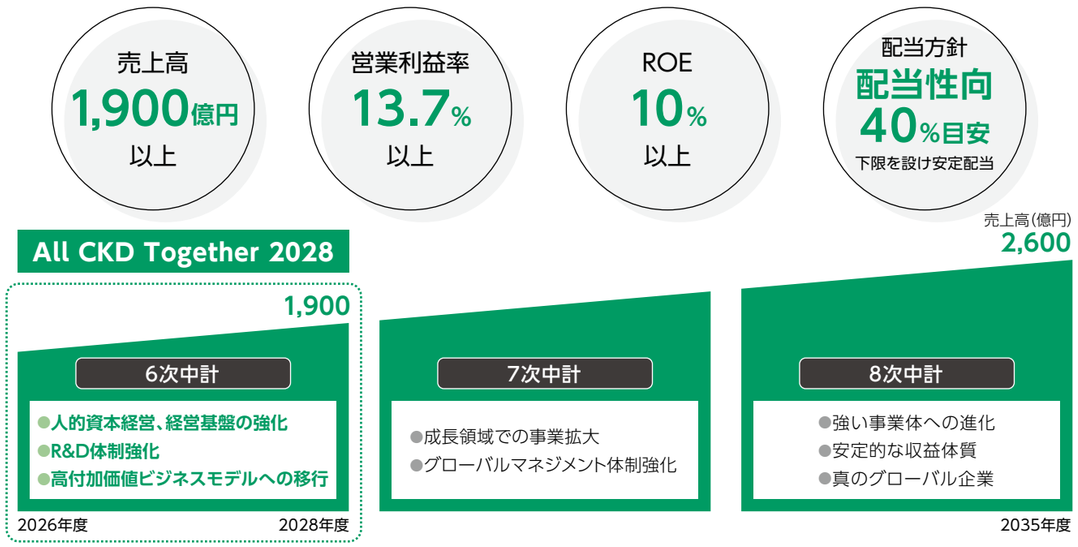
新10年VISIONの実現に向けた第6次中期経営計画「All CKD Together 2028」では、経営戦略と連動した人的資本経営の推進と経営基盤の強化を通じて、組織全体の総合力を高めてまいります。社員一人ひとりを大切にし、働きがいと成長を実感できる環境を整えるとともに、価値創造の源泉である人材の能力を最大限に引き出してまいります。

All CKD Together 2028

自動機と機器、営業と技術・生産、本社と海外など、部門や立場の枠を超え、
全社一丸となって成長を実現する

目指す姿を実現するための4つの成長方針

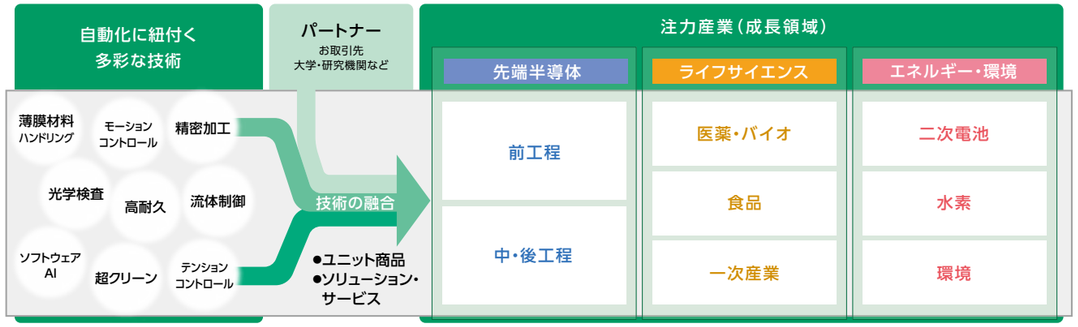
1	人的資本経営・経営基盤の強化	人材を価値創造の源泉とし、持続的成長を支える経営基盤を整備する
2	R&Dを強化し社会課題を解決する製品・サービスを提供	技術開発力を競争優位の原動力とし、顧客課題や社会課題を解決する高付加価値製品・サービスを継続的に提供する
3	グローバル成長領域へ経営資源を集中	市場の成長性と自社の強みがクロスする領域に選択と集中を行い、限られた経営資源を最大限に活かす
4	高付加価値ビジネスモデルへの移行	商品の販売だけでなく、サービスやソリューションを組み合わせ、価値を循環させるビジネスモデルへ移行し収益性を高める



1.事業戦略

当社は、保有する多彩なコア技術の融合と、パートナーとの共創を通じて、強みを活かせる成長領域に新たな価値を提供することで、持続的な成長と社会課題の解決に貢献してまいります。

コア技術の融合により、強みを活かせる産業に注力し新たな価値を提供

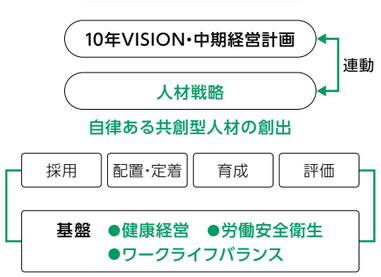


2.資本政策

営業活動により創出された資金を、持続的な成長に向けた投資原資として、人的資本・研究開発・事業基盤強化のための投資を積極的に進めてまいります。当社は、人材を価値創造の源泉と位置付けており、人材育成と採用活動の強化に取り組んでいきます。また、営業・技術、マーケティング・研究開発の連携に加え、事業部や組織の枠を超えた商品開発を推進していきます。更に、多様なパートナーとの共創や多彩な技術の融合を通じて、新たな価値の創出と事業成長の実現を目指してまいります。

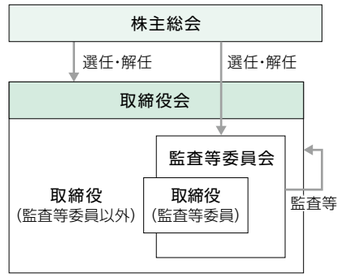
3.経営基盤の強化

経営計画に連動した人材戦略



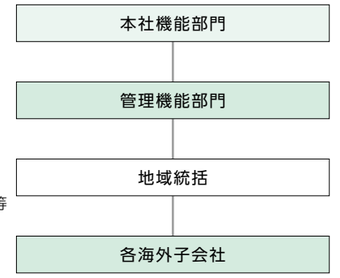
監査等委員会設置会社への移行

●取締役会の監督機能強化
●経営の意思決定の迅速化



グローバルガバナンス体制の強化

●新たに地域統括機能を有し、
監督機能強化と地域戦略を推進



持続的な成長を実現し、新たな価値を生み出していくためには、既存の枠にとらわれず、社員一人ひとりが自ら考え、挑戦し、変化を生み出していくことが不可欠です。当社は、失敗を恐れるのではなく、挑戦した結果としての失敗は評価する風土へと転換しながら、可能性を切り拓き、次の成長につなげていきたいと考えています。

また、当社は2026年6月に監査等委員会設置会社へ移行しました。取締役会の監督機能強化と経営の透明性向上を図るとともに、執行と監督の役割を明確化し、迅速な意思決定を推進してまいります。また、地域統括機能の新設により、グローバルガバナンスと競争力の強化を図り、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

最後に

当社は今、新たな成長ステージへの一歩を踏み出しています。これまで培ってきた技術、人材、お客様との信頼を礎に、Purposeを起点とした変革に挑戦し、持続的な成長と新たな価値創造を実現してまいります。「All CKD Together」のもと、社員一人ひとりが力を発揮し、パートナーの皆様とともに未来を切り拓いてまいります。今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

中長期ロードマップ

1943年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2028年 | 2035年

企業理念
私たちは創造的な知恵と技術で流体制御と自動化を革新し
豊かな社会づくりに貢献します。

経営理念
1. 社会的責任の自覚　4. 技術革新への挑戦
2. 地球環境への配慮　5. 人材重視の企業風土
3. 顧客志向の徹底

Purpose
自動化技術の探究と共創を続け
健やかな地球環境と豊かな未来を拓きます。

Values

C-SHIP CKDらしさ		
	Customer	顧客志向
	Sustainability	持続可能性
	Human	人材重視
	Innovation	革新
	Professionalism	プロ意識

Brand Slogan
Creating Solutions Together

長期経営VISION
「10年VISION GO CKD!」

◆より豊かな社会づくりに貢献する
① 国内No.1商品をグローバルNo.1商品に進化
② 新しい事業と新しい市場に挑戦
③ 事業基盤の拡大

◆株主の皆様からの期待に応える
① 国内No.1商品をグローバルに進化
② 新しい事業と市場に挑戦
③ 事業基盤の拡大

◆社員、そして家族を幸せにする
① 新しい事業と市場に挑戦
② グローバル化を加速し海外市場を拡大
③ サステナブルな経営基盤の確立
④ 人材重視の企業風土を構築

CKD VISION 2035
1. Technology & Solution
2. Human & Sustainability

GLOBAL CKD 2015

自動機成果

包装事業
薬品：中国の販売体制構築
　　ラインアップの強化
食品：新型包装機発売
サービス：サービス・サポート体制強化
　　サービス会社設立

産機事業
はんだ印刷検査機：高速・高精度対応
電池：電気自動車向け電池製造システムに特化

機器成果

流体制御
半導体：微細化対応
医療：分析装置向け商品発売

空気圧
FA：空気圧基幹商品の高機能化
　　食品業界向けシリーズ発売
　　電動商品のバリエーション強化

その他成果　拠点の増強
- 中国新工場を竣工
- 四日市工場をマザー工場化
- 自動機新棟増設
- インドネシアに販売会社設立
- ベトナムに販売会社設立
- インドネシアに生産会社設立
- メキシコに販売会社設立
- インドに販売会社設立

Challenge CKD 2018

自動機成果

包装事業
薬品：国内ジェネリック医薬品投資に対する
　　生産増強中国現地生産開始と包装後
　　工程の一括対応

産機事業
はんだ印刷検査機：前後工程とのデータ
　　連携機能搭載
電池：中国車載用電池市場を重点化

機器成果

流体制御
半導体：海外市場強化
　　最先端デバイスメーカーへの
　　源流開発強化
医療：サニタリーバルブの開発
　　分析装置用電磁弁の開発

空気圧
FA：IO-Link対応の流量計・圧力計の発売
電動：台湾TOYO社との共同開発
　　日機電装との経営統合

その他成果　拠点の増強
- 北米テクニカルセンター機能強化
- 中国新生産棟増設
- インド販売会社営業開始
- CKD CORPORATION BRANCH OFFICE(Asia Pacific)販促サポート・教育体制強化
- CKD EUROPE B.V.設立
- 日機電装株式会社をグループ化

Build-up CKD 2021

自動機成果

包装事業
国内サービス事業強化
中国市場向け専用モデル受注

産機事業
はんだ印刷検査機：新型モデル発売
検査機：透明体検査装置発売

機器成果

流体制御
半導体：生産体制増強

空気圧
長寿命機器HPシリーズの発売
IoT・ネットワーク対応の拡大
ヒューマンアシストシステムの拡大
環境負荷低減型商品の開発
窒素ガス精製ユニットの発売
電動：商品バリエーション拡充、生産体制強化

その他成果　拠点の増強
- 東北工場を竣工
- タイ工場生産増強
- イタリア販売代理店をグループ化
- インド営業体制強化・販売網拡大

Exciting CKD 2025

注力する産業:半導体
半導体分野の需要拡大を見据え生産体制を強化
- 米国オースティン工場竣工
- 北陸工場竣工

注力する産業:電池
二次電池向け関連投資に、自動機と機器の両事業で受注拡大を狙う
自動機　リチウムイオン電池用巻回機
　　高速かつ高精度な巻取りで生産性向上と安定稼働を両立
機　器　二次電池製造工程対応品
　　装置環境に対応した機器で安定稼働と長寿命に貢献

注力する事業:新商品・新事業
自動化技術を発展させ、お客様の生産性向上と社会課題を解決
- 電動×空気圧×画像検査を一括制御するプラットフォームの開発
- 人に優しく、作業性改善・労働災害予防に貢献する助力装置の開発
- 環境負荷低減型商品の拡充
- 半導体先端プロセスへの対応

注力する地域:海外市場
インド・ASEAN地域での生産強化
- イタリアに販売会社設立
- 欧州在庫センター設置
- マレーシアに生産会社設立
- インド工場竣工

All CKD Together 2028

成長方針

1 人的資本経営・
経営基盤の強化

2 R&Dを強化し
社会課題を解決する
製品・サービスを提供

3 グローバル成長領域へ
経営資源を集中

4 高付加価値
ビジネスモデルへの移行